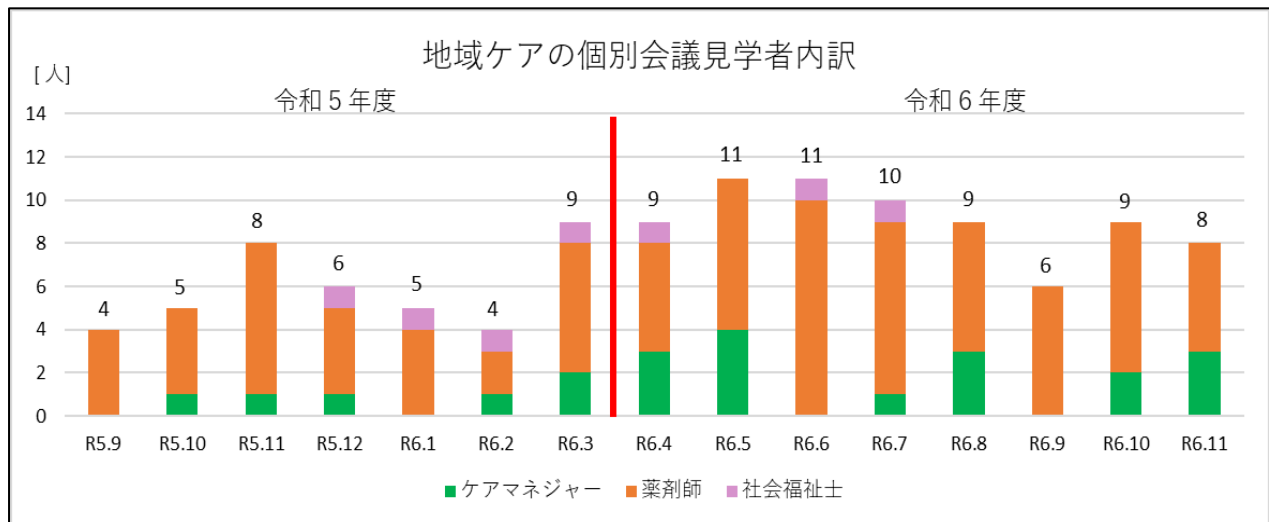


令和 5 年度下半期、令和 6 年度上半期「地域ケア個別会議」活動報告

1. 実績 詳細は別紙参照

○「自立支援」のための個別ケア会議

開催期間		開催数 事例数	見学者数
令和 5 年度	令和 5 年 9 月 ～令和 6 年 3 月	7 回 14 事例	47 人 6.7 人/回 (昨年度 3.6 人/回)
令和 6 年度	令和 6 年 4 月 ～11 月	8 回 16 事例	73 人 9.1 人/回 (昨年度 3.6 人/回)



○「援助困難ケース」のための個別ケア会議（随時開催）

令和 6 年 4 月～11 月 南部地域包括支援センター 2 件 [R5 年度 2 件]

北部地域包括支援センター 4 件 [R5 年度 3 件]

2. 「自立支援」のための個別ケア会議後のモニタリングについて 詳細は別紙参照

モニタリングの実施時期: 地域ケア個別会議実施約 3 か月後

○ 会議で助言や検討事項を介護予防事業計画書(プラン)へ反映

- ・ 16 事例/30 事例

○ 本人・家族への提案

- ・ 25 事例/30 事例

○ プランに反映できない原因

- ・ 配食の提案について、家族が制限に囚われず食べさせたいという想いがあったため
- ・ 歯科受診を提案したが、本人が必要を感じていないため

3. 令和6年度における本会議の取組

令和5年度の振り返り(反省点)からの取組

前年度の振り返りを実施し、改善するために以下の点について取組んでいる。

① 会議の見学者が少ない(前年度からの継続課題)

市内居宅介護支援事業所や薬局に対して、「自立支援」のための地域ケア個別会議の開催通知の送付頻度を増やした。

→令和5年度下半期: 1回あたりの平均見学者数「6.7人」

令和6年度上半期: 「9.1人」約1.4倍増加

一方で、職種別内訳では、薬剤師の割合が高く、ケアマネジャーが増えていないことが新たな課題としてみえてきた。

② 地域ケア会議の機能充実に向けて

事例の課題について多職種からの助言をうけ、課題解決のための方向を見出すことができた。しかし、会議の時間上の都合のより、地域課題について議論や意見交換が十分に取れない状況となっている。そのため、会議の時間配分を見直し、地域課題の議論が活発になるよう運営に努めている。

また、会議後にアンケートを実施し、見学者から意見をもとめ、会議運営の改善に役立っている。見学者より「助言者からの提案によって、ケースにどのような変化があったのか知りたい」という意見から、今後見学者へフィードバックが必要と考える。

【地域ケア会議における見学者の事後アンケート結果 別紙参照 資料No.1-3(資料)】